

接続期（前期）

友達と支え合い、自分の力を発揮しながら、共通の目的に向かって取り組む充実感を味わう

5歳児 2月

「じゃあ、台詞、教えてくれる？」

<p>幼児の姿</p>	<p>内容とのつながり 及び 関連する<u>幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿</u></p>
<p>表現会のリハーサルの日である。祖父母が参観に来ており、本番さながらの雰囲気だった。5歳児創作劇「わんぱくだんのタイムトラベル」のわんぱくだん役の子が8人中3人欠席であることが分かった。前半に出る子が1人、後半に出る子が2人欠席なので、誰かが代役として前半も後半もでなければいけないことになる。そこで、わんぱくだん役の幼児を集めて、欠席の友達がいることを伝える場を設けた。</p> <p>教師 「今日、ウヅくんとジンくんとヒくんがお休みなんだけど、劇の時どうする？」</p> <p>教師のその言葉を聞き、幼児に一瞬、緊張が走った。</p> <p>ウト 「僕、後半だから前半のウヅくんの所も出るよ。やってみる」</p> <p>川ト 「じゃあ、ジンくんとヒくんのところはメくんとヨキくん、お願い」</p> <p>ルイ 「わかった」</p> <p>ヨキ 「え、できない」</p> <p>ウト 「でも、やらないと、劇できないじゃん」</p> <p>ヨキ 「だって、何て言えばいいか、わからないし、できない」</p> <p>ウト 「じゃあ、どうする？」</p> <p>ヨキ 「僕、できない」</p> <p>タウ 「でも、ヨキくんがやらないと・・・わんぱくだんの劇にできないよ」</p> <p>そう言われても、ヨキはなかなかやると言わなかった。</p> <p>教師 「劇どうする？できる？」</p> <p>川ト <u>「やるしかないやろ」</u></p> <p>ヨキ <u>「じゃあ、台詞、教えてくれる？」</u></p> <p>ウト <u>「いいよ。僕、横にいるから、小さい声で教えてあげる」</u></p> <p>ヨキ <u>「じゃあ、やるよ。本当に教えてね」</u></p> <p>ウト <u>「うん。大丈夫だよ」</u></p> <p>教師 <u>「ヨキくん、がんばってね」</u></p> <p>ヨキ <u>「うん」</u></p> <p><u>リハーサルが始まり、前半の自分の出番を終えたヨキは、ヒの代役としての準備をしっかりと確かめ、出番を待っていた。そして後半、しっかりとヒの分も演じることができた。</u></p>	<p>・友達に自分から助けを求め、求められた友達も劇を成功させるべく、それに応えている。劇を成功させるという共通の目的のため、緊張や不安を乗り越えて自分の力を発揮している。</p> <p><u>自立心</u> <u>協同性</u></p>